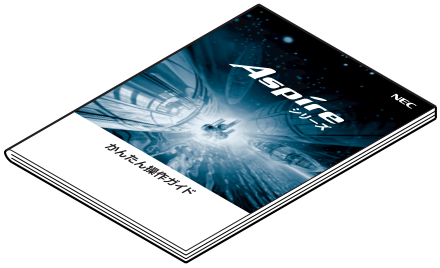
NEC

かんたん操作ガイド

マニュアルの構成

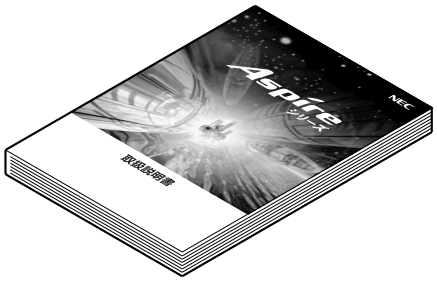
かんたん操作ガイド（本書）

「電話をかける」や「受ける」または「保留する」などの基本的な操作を説明しています。



取扱説明書（別冊）

本書の『かんたん操作ガイド』で説明している操作のほかに、より便利な使いかたについて、詳しく説明しています。



本書の読み方

本書で使われているマーク

注意

気を付けていただきたいことが書かれています。
この注意を守らないと、操作がうまくできなかったり、思うように進まないことがあります。
注意は必ず守ってください。

こんなときは

困ったときのアドバイスなどが書かれています。
本システムは工事段階の設定などにより、本書に書かれている内容と違うことが起こる場合があります。このようなときに迷わないための、アドバイスが書かれています。また、別の使いかたをするときのアドバイスなども書かれています。

本書取扱い上のご注意

- 本システムをご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになったあとも、いつでも見られるよう、お手元に大切に保管してください。

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一、ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

Ⓒ NEC Infrontia Corporation 2002, 2003
NECインフロンティア株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびは、本システムをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本システムは、オフィスで使用される電話機とパソコン関連の通信とをトータルで考え、共有できる部分を統合することにより、操作面だけでなく、設置面でのコンパクト化を実現しました。

本書は、電話機から行える基本的な操作を説明しています。さらに詳しい操作や、オプション機器が必要な機能の操作を知りたいときは、別冊『取扱説明書』をお読みください。

もくじ

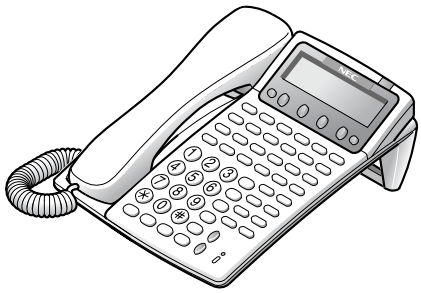
マニュアルの構成
本書の読み方
はじめに …… 1
もくじ …… 2
本システムを
　安全に正しくお使いいただくために …… 4
電話機のボタンと表示について …… 5
音の大きさや表示の濃さを調整するには …… 7
パネルの取り扱いかた …… 8

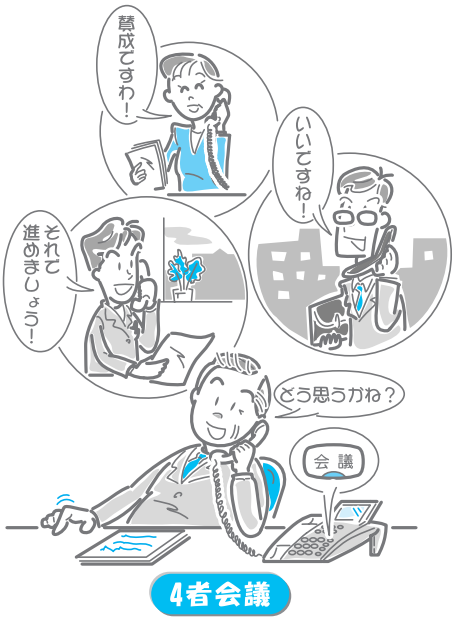
いろいろなかけかた・受けかた

外線に電話をかける …… <外線通話> … 10
内線に電話をかける …… <内線通話> … 11
外線からの電話を受ける …… 12
内線からの電話を受ける …… 13
こんなかけかたもできます …… <メモダイヤル> … 14

保留する・取り次ぐ

相手に待ってもらうには …… <保留> … 16
電話を取り次ぐには …… <転送> … 17





4者会議

もっと便利に使う

もう一度かけ直したいときは …… <再ダイヤル> … 20
先に電話番号を押してからかける …… <プリセットダイヤル> … 21
受話器を置いたまま話す …… <ハンズフリー通話> … 22
相手が出るまで自動でかけ直す …… <リピートダイヤル> … 24
プッシュホンサービスなどを利用するときは …… <通話中PB信号送出> … 25
短縮番号でかける …… <短縮発信> … 26
ワンタッチでかける …… 28
電話で会議する …… <会議通話> … 31
市販の電話機を使う …… <一般電話機> … 33
こんな使いかたもできます …… 36

付　　録

ランプ状態の点灯・点滅について …… 38
文字入力のしかた …… 39

本システムを安全に正しくお使いいただくために

－必ずお読みください－

あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。

⚠ 警告： 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意： 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例 ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⚠ 警　告

本機の上や近くに、花びん、植木鉢などのように水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。水が入ったり、異物が入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注　意

主装置のカバーは、工事・保守者以外の方は開けないでください。内部に触ると、感電・けがの原因となります。

お　願　い

- テレビやラジオ、強い磁石などの近くでは使用を避けてください。故障の原因となります。
- 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などの近くではご使用を避けてください。故障の原因となります。

本ページの注意事項は、電話機をお使いいただくための一部の表記です。詳しいお取り扱いの注意については、別冊の『取扱説明書』に記載されている「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

電話機の清掃について

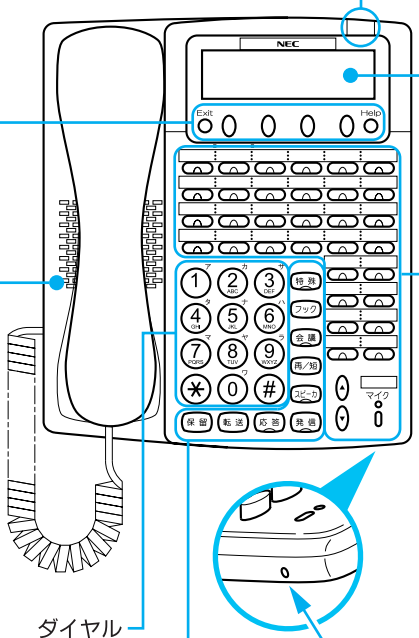
乾いた柔らかい布でふきとってください。
特に汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を薄め、柔らかい布に含ませて、かたくしぼってからふいてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や化学雑巾のご使用は避けてください。

電話機のボタンと表示について

32ボタン 表示器付きの場合

大型ランプ
外線や内線からの着信時に点滅します。
また、オプションのボイスメールを利用している場合、メッセージが録音されていると点滅します。

表示器 次ページ参照



Exit ・・・ **Exitボタン**
表示器を見ながらの操作を、途中でやめたいときなどに使います。

・・・ **ソフトキー**
発着信履歴の確認や短縮番号に登録されている相手先の検索、各機能の設定時に、表示器に表示された項目の選択などに使います。

Help ・・・ **ヘルプボタン**
ファンクションボタンに登録されている機能を確認するときなどに使います。

・・・ **ファンクションボタン**（ランプ付き）
外線にかけるときに使います。また、相手の電話番号や内線番号を登録してワンタッチで電話をかけたり、いろいろな機能を登録してワンタッチで操作することもできます。

・・・ **ボリュームボタン**
受話音量や着信ベル音量または、表示器の濃さを調整するときに使います。

マイク ・・・ **マイクランプ**
マイクが使える状態のときに点灯します。

ダイヤルボタン

スピーカ

マイク
受話器を置いたままで話すとき、このマイクに向かって話します。

特殊 ・・・ **特殊ボタン**（ランプ付き）
いろいろな機能を設定するときなどに使います。

フック ・・・ **フックボタン**
受話器を戻さないで外線通話を切るときや、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

会議 ・・・ **会議ボタン**（ランプ付き）
複数の人と同時に通話（会議通話）するときなどに使います。
会議ランプは、会議操作中に点灯します。また、内線通話の保留中にも点滅します。

再/短 ・・・ **再/短ボタン**
最後にかけた相手にかけ直すときや、短縮ダイヤルを使ってかけるときなどに使います。

スピーカ ・・・ **スピーカボタン**（ランプ付き）
受話器を置いたまま、電話をかけるときに使います。

保留 ・・・ **保留ボタン**
通話を保留にするときに使います。

転送 ・・・ **転送ボタン**
通話を他の人に取り次ぐときに使います。

応答 ・・・ **応答ボタン**（ランプ付き）
外線からの電話を受けるときに使います。
応答ランプは、外線から電話がかかってくると点滅します。

発信 ・・・ **発信ボタン**（ランプ付き）
外線に電話をかけるときに使います。

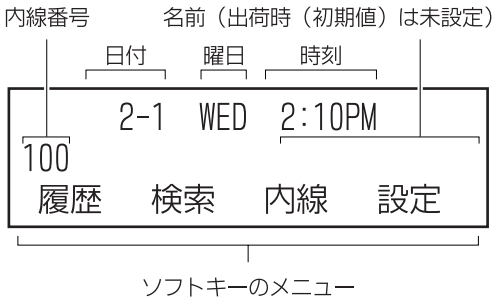
表　示　器

電話機の状態により、次のように表示されます。

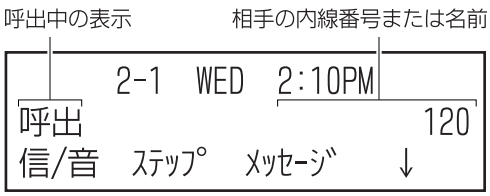
注意

- ここで紹介している表示例は、出荷時（初期値）のものです。ただし、MBU-S1制御ユニットをご使用の場合、内線番号と外線番号は2桁で表示されます。
- 工事段階での設定により、表示内容は異なります。

電話機を使用していないとき

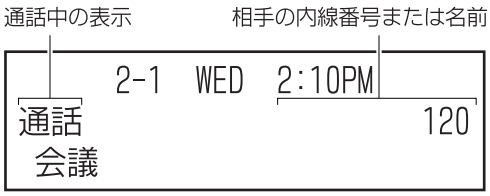


内線を呼出中のとき

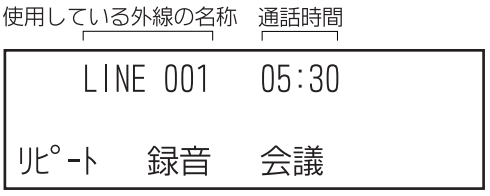


外線にかけるとき

内線と通話中のとき



外線と通話中のとき



表示器の中段には、次の内容が表示されます。
- 電話をかけたとき：右端に通話料金の目安を表示
  ※ NTCPU-A2制御ユニットの場合は表示なし
- 電話を受けたとき：左端に“応答”と表示

音の大きさや表示の濃さを調整するには

音の調整

ボリュームボタン ▲ 大きく
ボリュームボタン ▼ 小さく

受話器の音量調整

通話中に相手の声が大きすぎる、または聞こえにくいなどのときに、調整します。
電話を切ると、調整前の音量に戻ります。

通話中にボタンを押す

スピーカの音量調整

スピーカから聞こえる声の大きさを調整します。
音量は14段階で調整できます。

スピーカで通話中にボタンを押す

ベルの音量調整

着信したときのベル音を調整します。
音量は13段階で調整できます。

ベルが鳴っているときにボタンを押す

話中着信音の音量調整

話中時に電話がかかってきたときに鳴る話中着信音を調整します。
電話機を使っていないときに調整します。

受話器を上げて⑨③⑦を押し、擬似着信音が鳴っているときにボタンを押す

明るさの調整

ボリュームボタン ▲ 濃い
ボリュームボタン ▼ 淡い

表示器の濃さを調整

電話機を使っていないときに調整します。

表示器を見ながらボタンを押す

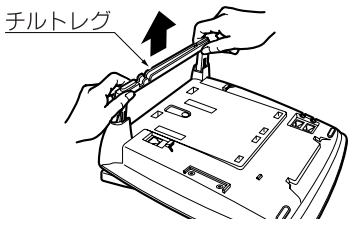
注意 **電話機を使っていない状態で操作してください**

受話器を上げていたり、着信ベルが鳴っているときに操作すると、受話器やベルの音量が調整されてしまいます。

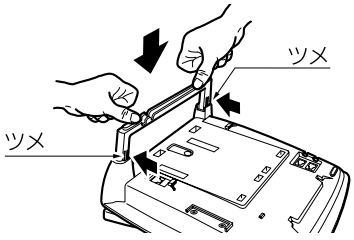
電話機の角度を調整する

電話機を使いやすい角度に調整することができます。電話機の裏面にある台座部（チルトレグ）を引き出してください。

● チルトレグを上げるには



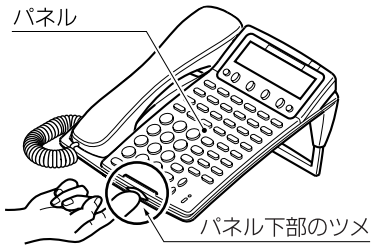
● チルトレグを下げるには



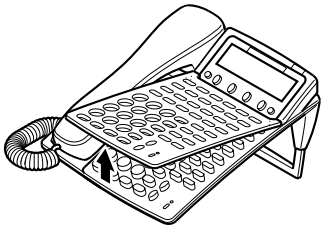
パネルの取り扱いかた

パネルの取り外しかた

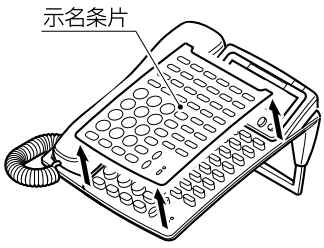
1 パネルの下部中央にあるツメに指をかける



2 軽く上に持ち上げて取り外す



3 示名条片を取り外す



こんなときは

パネルにキズがついているように見える

光の当りかたによって、パネルの穴の周囲などにキズのようなスジが入って見えることがあります。これはプラスチックの成形過程で生じるもので、構造および機能に問題はありません。安心してお使いください。

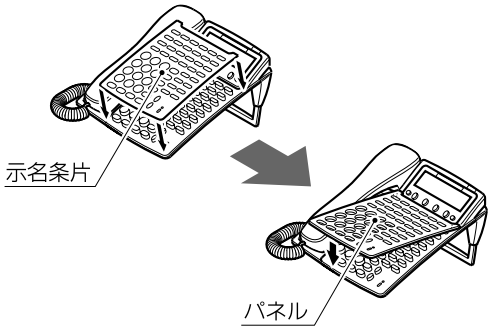
示名条片ってなに？

ボタンに割り付けてある機能の名称や、電話の相手先の名前などを記入して、電話機を使いやすくします。
詳しくは、販売店にご相談ください。

パネルの取り付けかた

1 電話機のボタンに合わせて示名条片をかぶせる

2 パネルの上部を先に合わせてから“カチッ”と音がするまで四隅を押さえる



注意

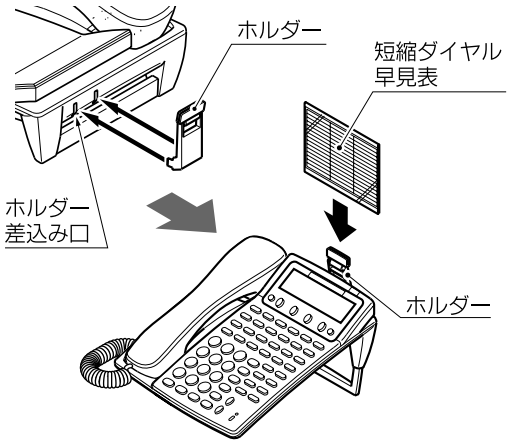
パネルは確実に取り付けてください

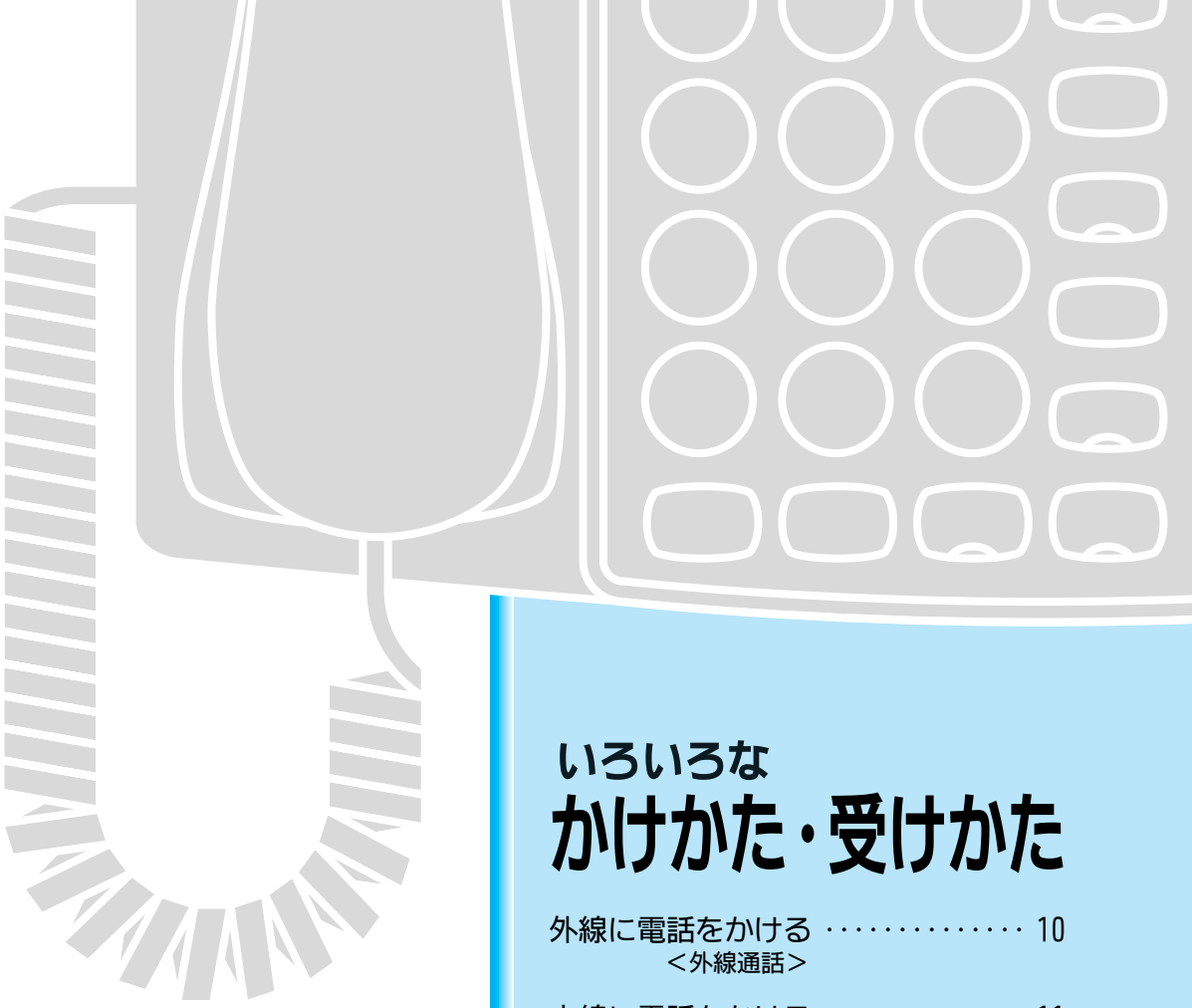
パネルがずれて、パネルでボタンが押されたままになると、誤動作の原因となります。

短縮ダイヤル早見表の取り付けかた

電話機背面のホルダー差込み口に、ホルダーを差し込んだあと、短縮ダイヤル早見表を、ホルダーに取り付けます。

※ 短縮ダイヤル早見表の表面についている保護フィルムは、はがしてお使いください。





いろいろな
かけかた・受けかた

外線に電話をかける …… 10
<外線通話>

内線に電話をかける …… 11
<内線通話>

外線からの電話を受ける …… 12

内線からの電話を受ける …… 13

こんなかけかたもできます …… 14
<メモダイヤル>

外線に電話をかける

こんな機能です

受話器を置いたまま外線ボタンまたは発信ボタンを押すと、ダイヤルトーンが聞こえます。このあと相手の電話番号を押すと、外線に電話がかけられます。

こんな使いかたができます

押した電話番号がディスプレイに表示され、相手の電話番号を確認することができます。また、受話器を上げて外線ボタンを押してからでも、かけられます。

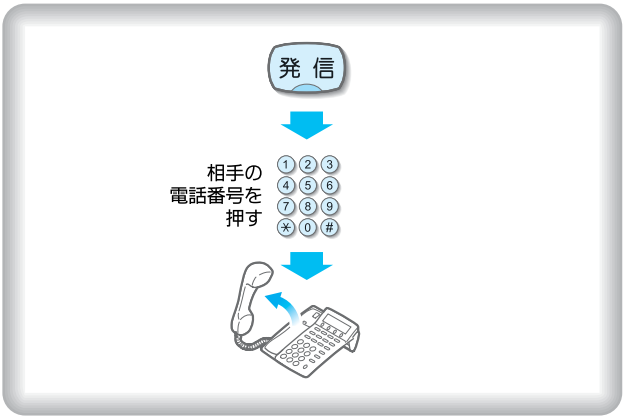
発信ボタンでかける

1 発信 **を押す**
発信ボタンが緑点灯して、スピーカからダイヤルトーン（ツー…）が聞こえます。

2 **相手の電話番号を押す**

3 **受話器を上げる**

相手が出たら通話します。



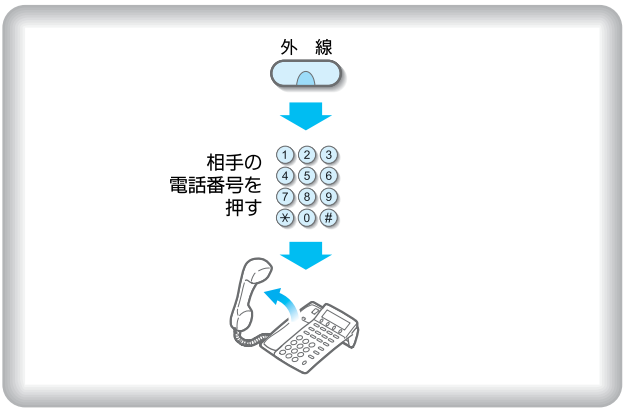
外線ボタンでかける

1 外線 **を押す**
外線ボタンが緑点灯して、スピーカからダイヤルトーン（ツー…）が聞こえます。

2 **相手の電話番号を押す**

3 **受話器を上げる**

相手が出たら通話します。



内線に電話をかける

こんな機能です

本システムに接続されている電話機どうしで、通話することができます。このとき通話料金はかかりません。

こんな使いかたができます

先に受話器を上げてから、内線番号を押してもかけられます。このときは、スピーカボタンを押す必要はありません。

かけかた

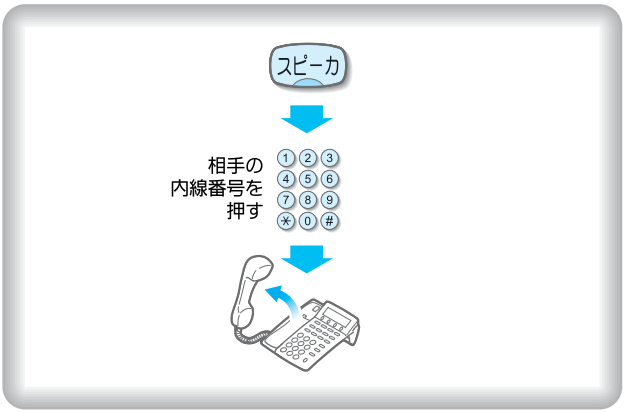
1 スピーカ を押す

スピーカボタンが赤点灯して、ダイヤルトーン（ツーツーツー…）が聞こえます。

2 相手の内線番号を押す

3 受話器を上げる

相手が出たら通話します。



外線からの電話を受ける

こんな機能です

外から電話がかかってきたとき、点滅している外線ボタンまたは応答ボタンを押すと、外線からの電話が受けられます。

こんな使いかたができます

先に受話器を上げてから、応答ボタンまたは外線ボタンを押しても受けることができます。

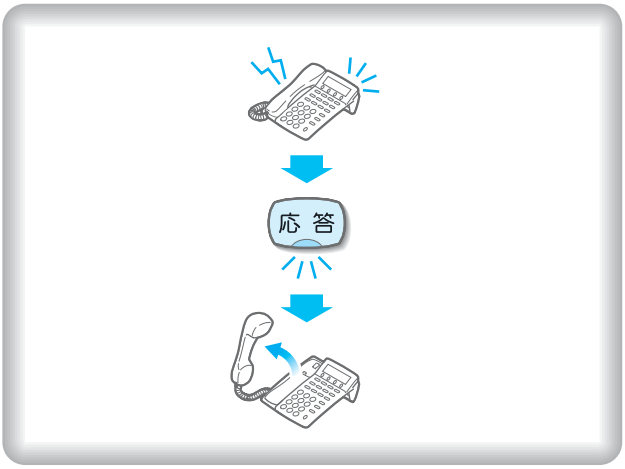
応答ボタンで受ける

1 外線が着信中
外線着信音が鳴り、大型ランプが赤点滅し、応答ボタンが赤点滅します。

2 応答 を押す

3 受話器を上げる

相手と通話します。



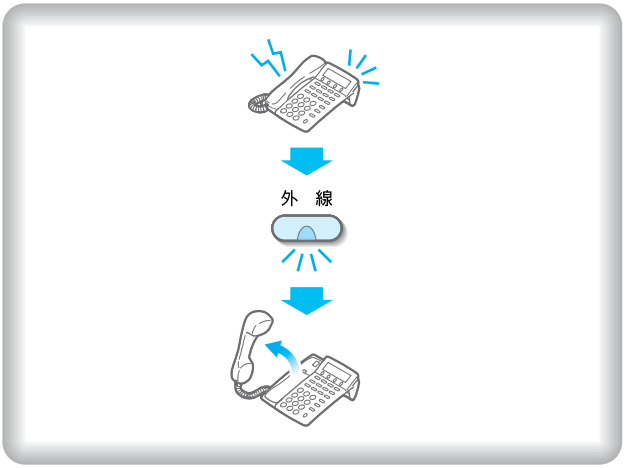
外線ボタンで受ける

1 外線が着信中
外線着信音が鳴り、大型ランプが赤点滅し、外線ボタンが赤点滅します。

2 外線 を押す

3 受話器を上げる

相手と通話します。



内線からの電話を受ける

こんな機能です

大型ランプが赤点滅して、内線着信音が聞こえたら、内線からの電話です。そのまま受話器を上げると通話ができます。

こんな使いかたができます

着信音と同時に、かけてきた相手の内線名称が表示されるので、誰からの内線か、確認することができます。

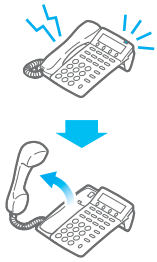
受けかた

1 **内線が着信中**

内線着信音が鳴り、大型ランプが赤点滅します。

2 **受話器を上げる**

相手と通話します。



こんなかけかたもできます

電話のかけかたには、本書に記載されているもののほかにも、たくさんのかけかたがあります。
別冊の『取扱説明書』には、それらの便利なかけかたについて記載されています。

ここでは、便利なかけかたのひとつ「メモダイヤル」をご紹介します。

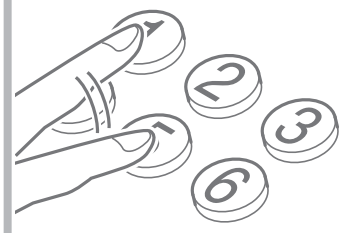
● メモダイヤル

外線と通話中に聞いた電話番号を、メモを書く代わりに、電話機のメモダイヤルボタンに記憶させることができます。また、記憶した番号を、あとで呼び出してから電話をかけることができます。

※ メモダイヤルを利用するには、電話機に「メモダイヤルボタン」を割り付けておく必要があります。詳しくは『取扱説明書』の「システム管理者の方へ」を参照してください

メモダイヤルで
電話番号を登録する

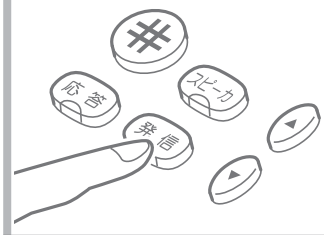
通話中にメモダイヤルボタンを押す



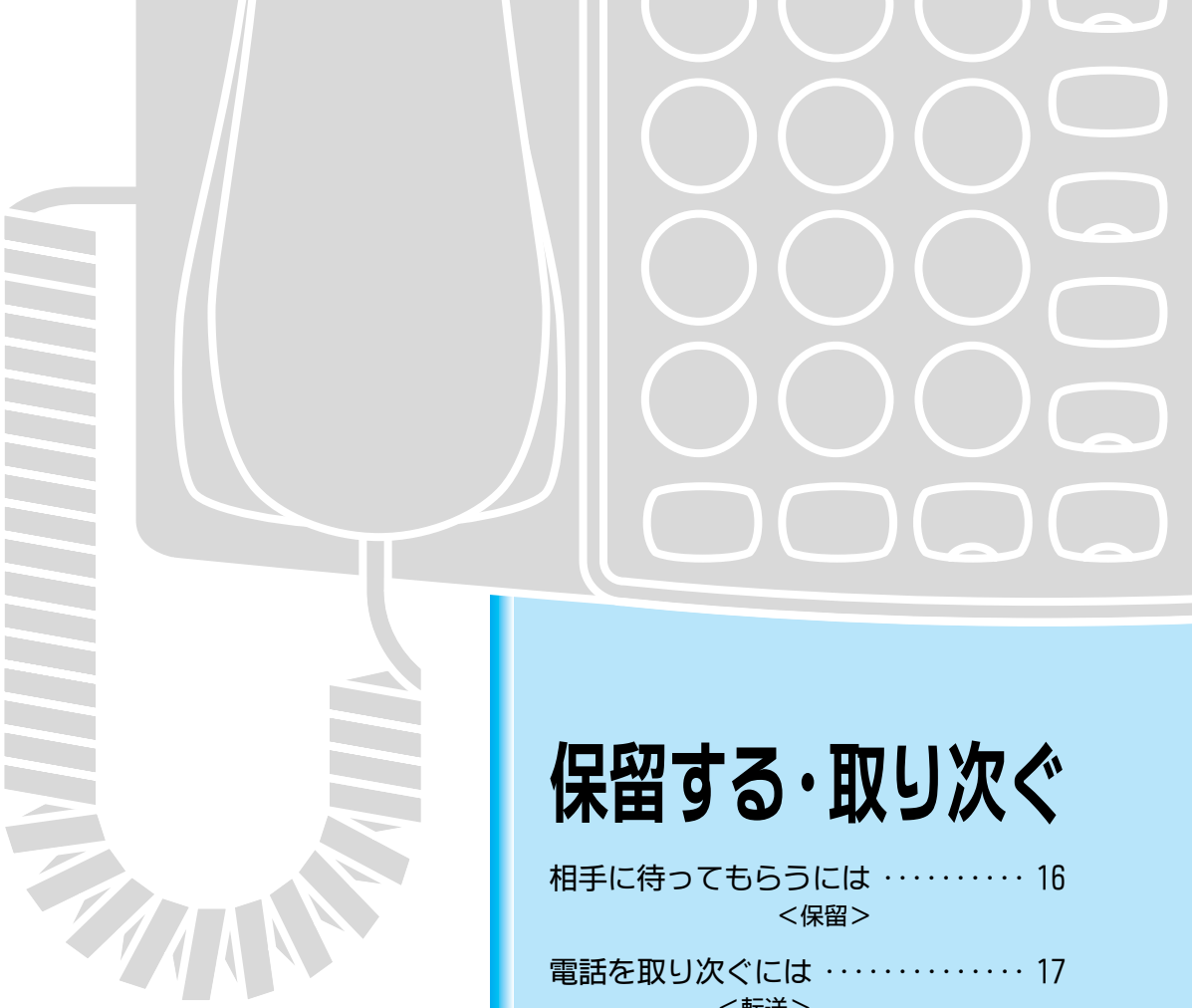
記憶したい番号をダイヤルボタンで入力し、メモダイヤルボタンを押す

メモダイヤルで
電話をかける

メモダイヤルボタンを押す



発信ボタンを押す



保留する・取り次ぐ

相手に待ってもらうには ····· 16
＜保留＞

電話を取り次ぐには ····· 17
＜転送＞

相手に待ってもらうには

保留

こんな機能です

外線または内線の通話中に、相手を少し待たせるとき、メロディーを流して保留にすることができます。保留のメロディーが流れているときは、相手側にこちらの声は聞こえません。また、保留にしたまま90秒（初期値）経つと、保留警報音が鳴り、保留のままであることを知らせてくれます。

こんな使いかたができます

他の人に、電話を取り次ぐときにも便利です。

電話を取り次ぐには → 次ページ

保留のしかた

1 通話中

2 保 留 を押す

相手に保留音が流れ、外線ボタンが緑点滅します。内線通話のときは、会議ボタンが緑点滅します。

3 受話器を戻す

これで、通話が保留できました。

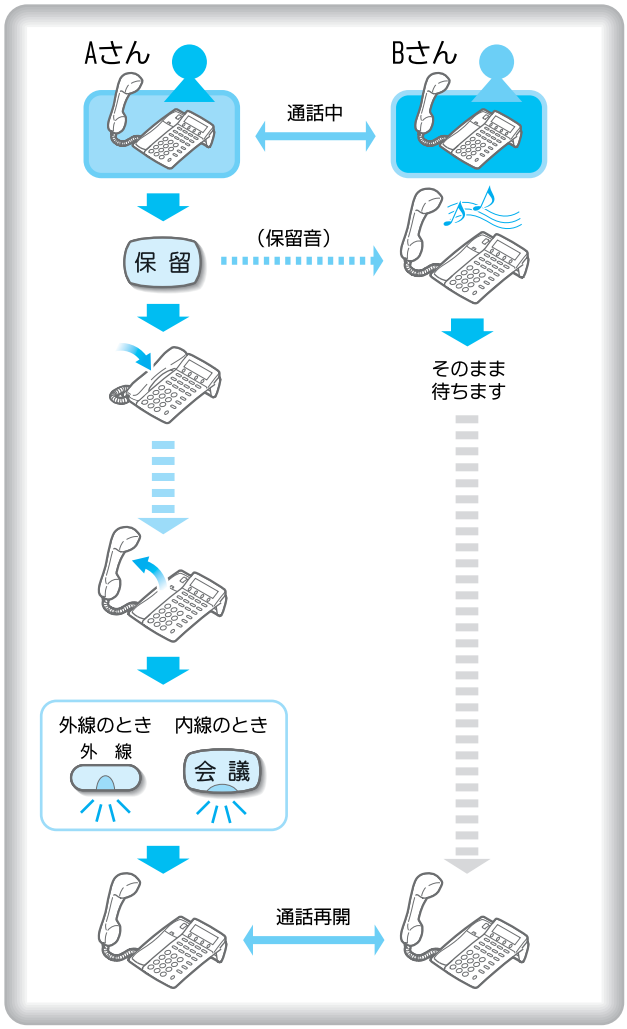
通話を再開する

1 受話器を上げる

2 外 線 （緑点滅）を押す

内線保留のときは、会議ボタンを押します。

相手と通話します。



電話を取り次ぐには

転送

こんな機能です

かかってきた電話をいったん保留にして、他の人に代わってもらうことができます。

こんな使いかたができます

電話を代わってもらいたい相手が自分の近くにいるときは、直接口頭で用件を伝えたあとに、電話を代わってもらいます。
また、相手が自分と離れた場所にいるときは、内線で呼び出して用件を伝えたあとに、電話を代わってもらいます。

近くの人に取り次ぐ

例：Aさんが Bさんに、口頭で外線通話を取り次ぐ場合

1 Aさんが通話中

2 保留 を押す
外線ボタンが緑点滅します。通話の相手に保留音が流れ、通話が保留されます。

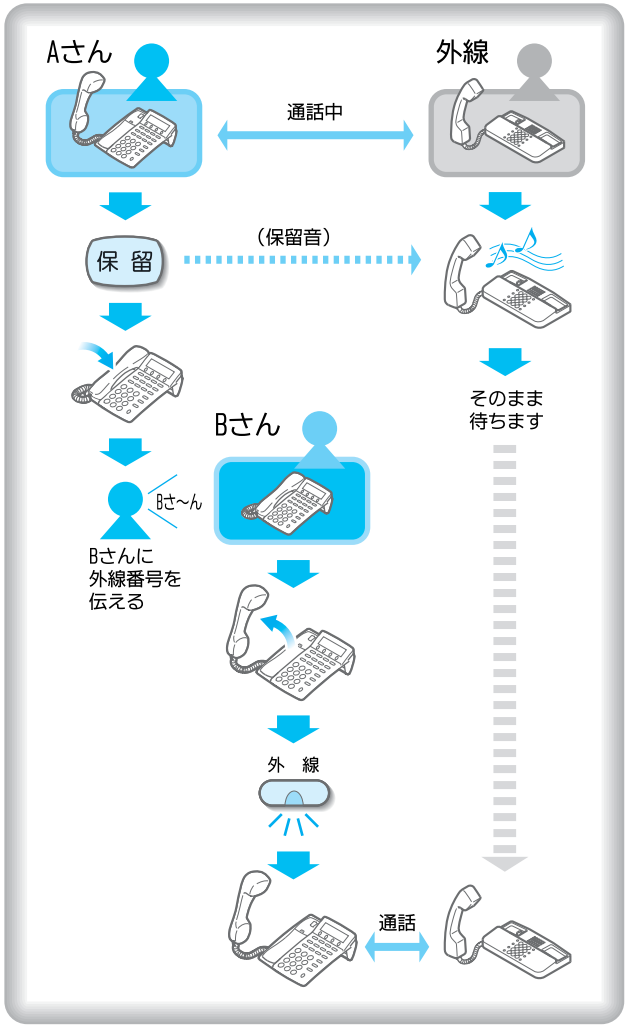
3 受話器を戻す

4 口頭で保留中の外線番号を伝える

5 Bさんが受話器を上げる

6 外線（赤点滅）を押す
Aさんから聞いた外線番号のボタンを押します。
外線ボタンが緑点灯に変わります。

Bさんは、外線の相手と通話します。



離れた人に取り次ぐ

例：A さんが C さんに内線を使って外線通話を取り次ぐ場合

1 A さんが通話中

2 保 留 を押す

外線ボタンが緑点滅します。
通話の相手に保留音が流れ、通話が保留されます。

3 C さんの内線番号を押す

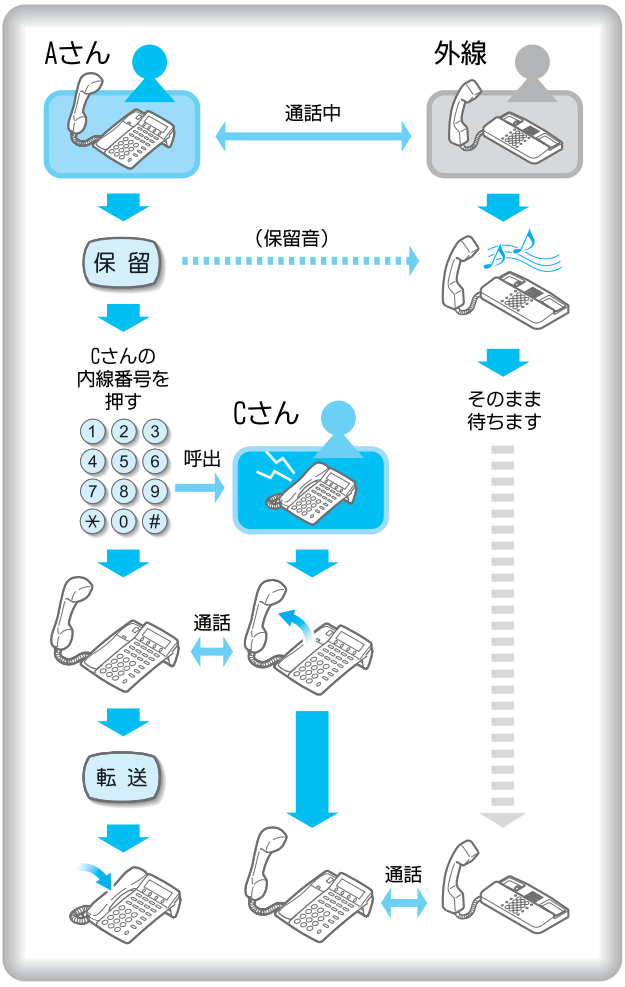
4 内線通話で用件を伝える

Aさんは用件を伝えます。
Cさんは受話器を上げたまま待ちます。

5 A さんが 転 送 を押す

保留されていた通話が自動的にCさんにつながります。

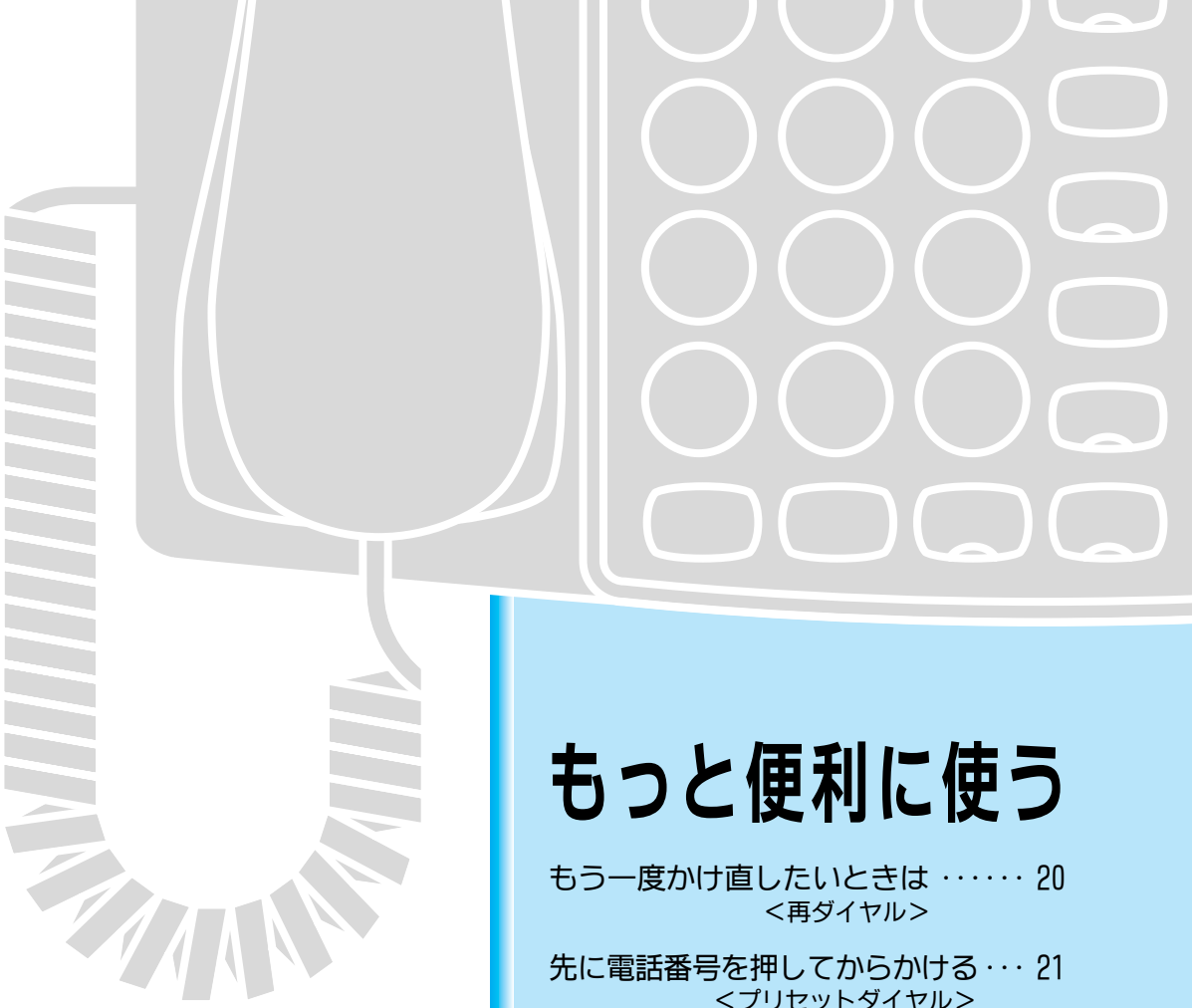
C さんは、外線の相手と通話します。



こんなときは

転送ボタンを押さずに転送できるようにしたい

受話器を戻すだけで転送するには、工事段階での設定が必要です。



もっと便利に使う

もう一度かけ直したいときは …… 20
＜再ダイヤル＞

先に電話番号を押してからかける … 21
＜プリセットダイヤル＞

受話器を置いたまま話す …… 22
＜ハンズフリー通話＞

相手が出るまで自動でかけ直す …… 24
＜リピートダイヤル＞

プッシュホンサービスなどを利用するときは …… 25
＜通話中PB信号送出＞

短縮番号でかける …… 26
＜短縮発信＞

ワンタッチでかける …… 28

電話で会議する …… 31
＜会議通話＞

市販の電話機を使う …… 33
＜一般電話機＞

こんな使いかたもできます …… 36

もう一度かけ直したいときは *再ダイヤル*

こんな機能です

最後にかけた相手の電話番号を、電話機が記憶しています。もう一度かけ直したいとき、簡単な操作でかけ直しができます。

こんな使いかたができます

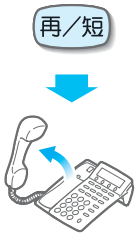
相手が話中だったときや、通話をいったん切る必要があるとき、用件を言い忘れたときなどに便利です。

操作のしかた

1 再／短 を押す

2 受話器を上げる
最後にかけた相手に発信します。

相手が出たら通話します。



先に電話番号を押してからかける

プリセットダイヤル

こんな機能です

外に電話をかけるとき、先に相手の電話番号を押し、表示器で確認したあと発信することができます。

こんな使いかたができます

長い桁の電話番号を押すときなど、電話のかけ間違いを防ぐことができます。

かけかた

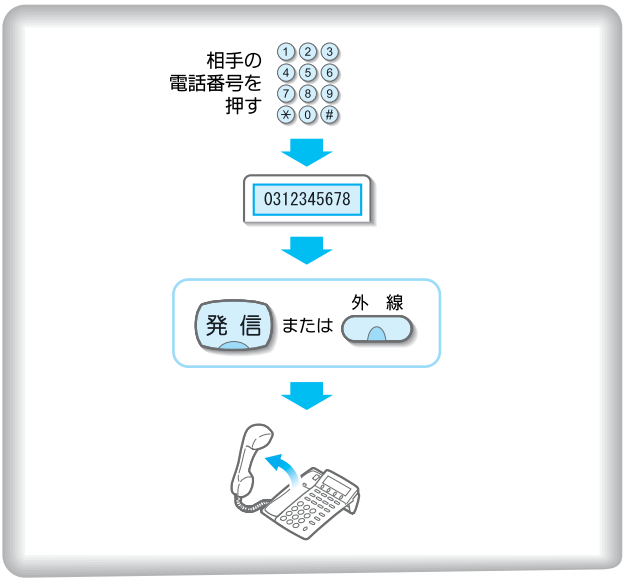
1 相手の電話番号を押す

2 表示器で番号を確認する

3 発信 または 外線 を押す

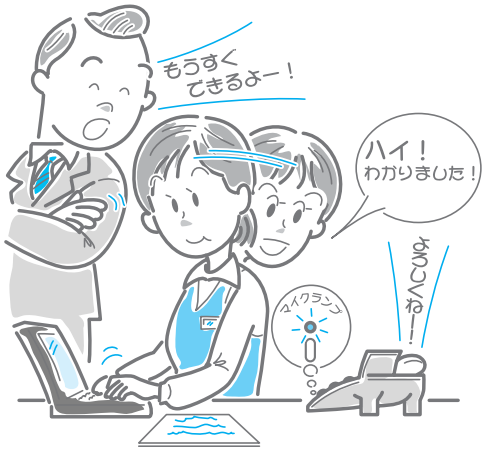
4 受話器を上げる

相手が出たら通話します。



受話器を置いたまま話す

ハンズフリー通話



こんな機能です

受話器を置いたまま、電話機に付いているスピーカとマイクを使って、通話することができます。

こんな使いかたができます

作業をしながら通話でき、また同席している複数の人が通話に参加できます。

準備のしかた

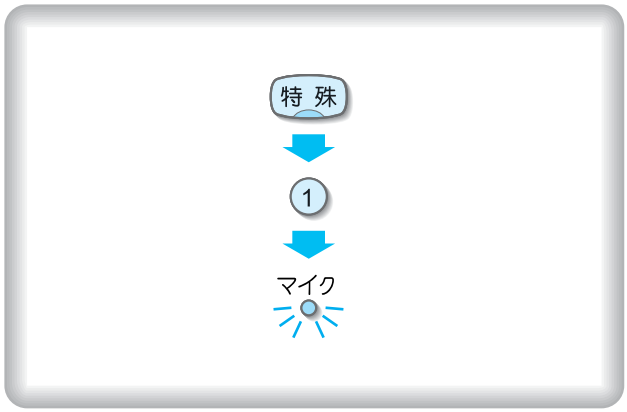
1 特殊 **を押す**

特殊ボタンが赤点灯します。

2 ① **を押す**

マイクランプが赤点灯し、特殊ボタンが消灯します。

これで、準備ができました。



解除したい

上記の操作をもう一度行うと、マイクランプが消灯し、解除されます。

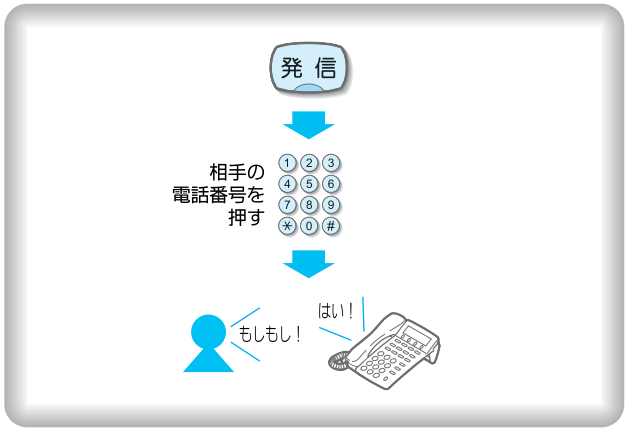
かけかた

1 発信 を押す

内線にかけるときは、スピーカボタンを押します。

2 相手の電話番号を押す

相手が出たら通話します。



受けかた

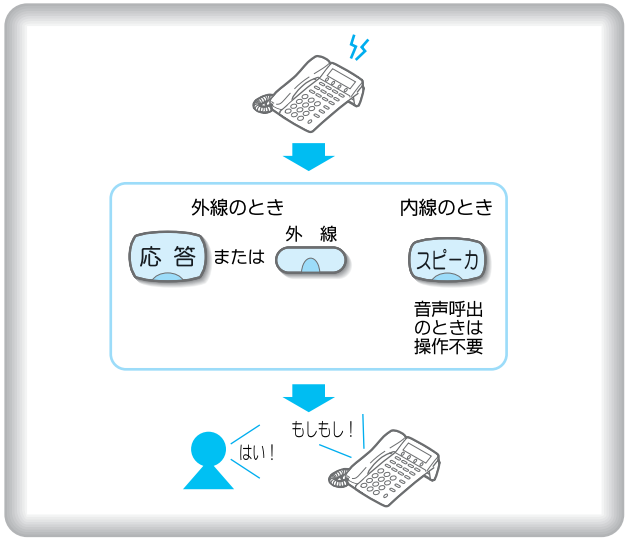
1 着信中

2 応答 を押す

着信中の外線ボタンを押しても、応答できます。

内線からの呼び出しを受けるときは、スピーカボタンを押します。ただし、音声で呼び出されたときは、着信と同時に内線通話がつながり、かけてきた相手の声が聞こえ、通話することができます。

相手と通話します。



注意

ハンズフリー通話中のときは

- 騒がしい所や、音が反響しやすい場所では受話器で通話してください。
- なるべく、電話機の前方50cm程度の所でお話しください。
- 相手と交互にお話しください。同時に話すと相手の声が途切れることがあります。
- 相手の声を聞くとき、スピーカの音量をむやみに大きくしないでください。

相手が出るまで自動でかけ直す リピートダイヤル

こんな機能です

電話をかけた相手が話中だったり、出なかったとき、一定の間隔おきに相手が出るまで、何度でも自動でかけ直します。

こんな使いかたができます

いつも話中が多い相手に電話をかけるときや、何度もかけ直す手間を省きたいときに使います。

設定のしかた

1 相手が話中

2 特殊 を押す

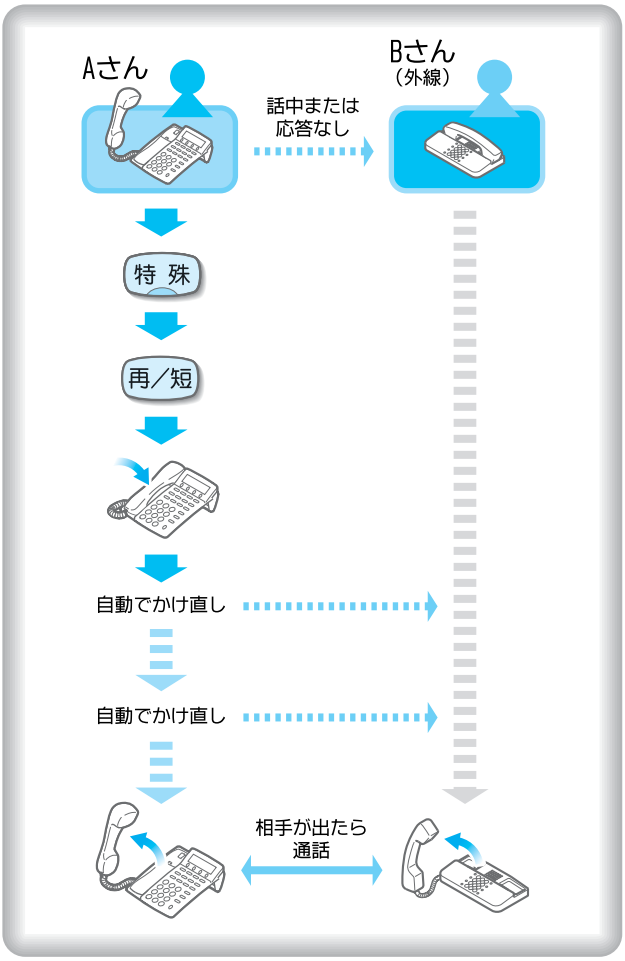
3 再/短 を押す

今かけている電話番号が表示されます。

4 受話器を戻す

約60秒おきに3回、相手にかけ直します。
1回の呼出時間は約30秒間です。

相手が出たら受話器を上げて通話します。



こんなときは

それでも相手が出ないときは

3回かけ直しても相手が出ないときは、リピートダイヤルが自動的に解除されます。

解除したいときは

次のいずれかの方法で解除できます。

- 待機中に特殊ボタン→再/短ボタンの順に押す
- 自動で発信中に、受話器を一度上げて戻す

かけ直す回数や間隔を変えたい

工事段階での設定が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

プッシュホンサービスなどを利用するときは

通話中PB信号送出

こんな機能です

ダイヤル回線（DP）をお使いの方が、プッシュホンサービスを利用したいとき、一時的にプッシュ信号（PB）を送ることができます。

こんな使いかたができます

次のようなプッシュホンサービスを利用するときに使います。

- 銀行のテレホンバンキングサービス
- チケットの電話予約サービス

操作のしかた

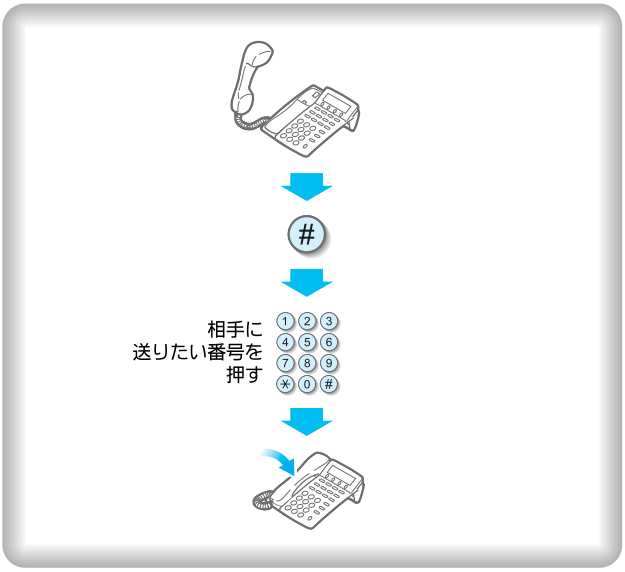
1 通話中

2 ＃を押す

3 相手に送りたい番号を押す

4 受話器を戻す

電話を切ると、プッシュ信号の送出は解除されます。



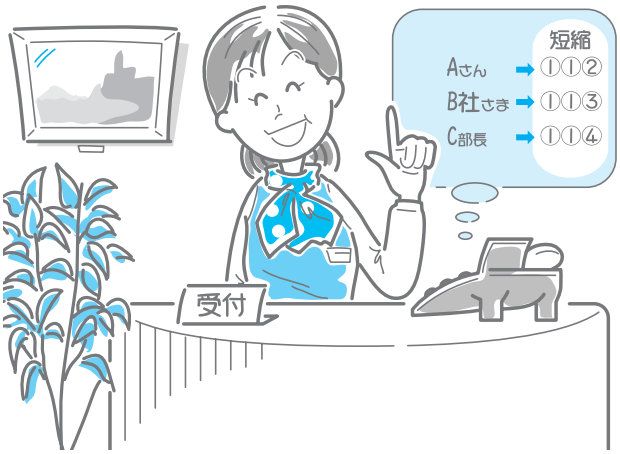
こんなときは

いつでもプッシュ信号を送れるようにしたい

相手につながると、自動的にプッシュ信号を送れるようにするには、工事段階の設定が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

短縮番号でかける

短縮発信



こんな機能です

前もって相手の名前と電話番号を短縮番号に登録することができます。かけるときに短縮番号を押すだけでかけられます。

こんな使いかたができます

短縮番号には、次のような種類があります。

- 個別短縮（80～99または900～919）
  電話機ごとに利用できる短縮番号です。
  登録・削除は電話機の使用者が行うことも、システム管理者がまとめて行うこともできます。
- 共通短縮（00～79または000～899）
  すべての電話機で共有する短縮番号です。
  登録・削除はシステム管理者が行います。

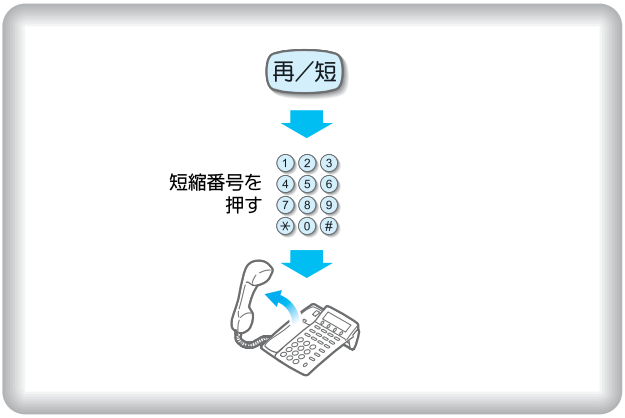
かけかた

1 再／短 を押す

2 **短縮番号を押す**
登録されている電話番号と名前が表示されます。

3 **受話器を上げる**

相手が出たら通話します。



こんなときは

登録した短縮番号がわからない
“検索”のソフトキーを押すと、検索メニューが表示されます。メニューに従って、該当のソフトキーを押してください。

部署ごとに短縮番号を使いたい
任意の部署ごとに利用できる「グループ短縮番号」があります。登録・削除はシステム管理者が行います。
詳しくは、販売店にご相談ください。

登録のしかた

ここでは、電話機ごとに登録ができる、個別短縮について説明します。
登録できる件数：20件　　使える短縮番号：80～99

例：短縮番号 90 に相手の電話番号と名前を登録します

1 スピーカ を押す

2 ＊ 0 4 を押す
＊04は、短縮に登録するための番号です。

3 9 0 を押す

4 相手の電話番号を入力する
続けて内線番号も登録したいときは、電話番号のあとに転送ボタン（ポーズ）を押し、次に内線番号を押します（追加ダイヤルイン等の場合）。
名前を登録しない場合は、手順7へ進んでください。

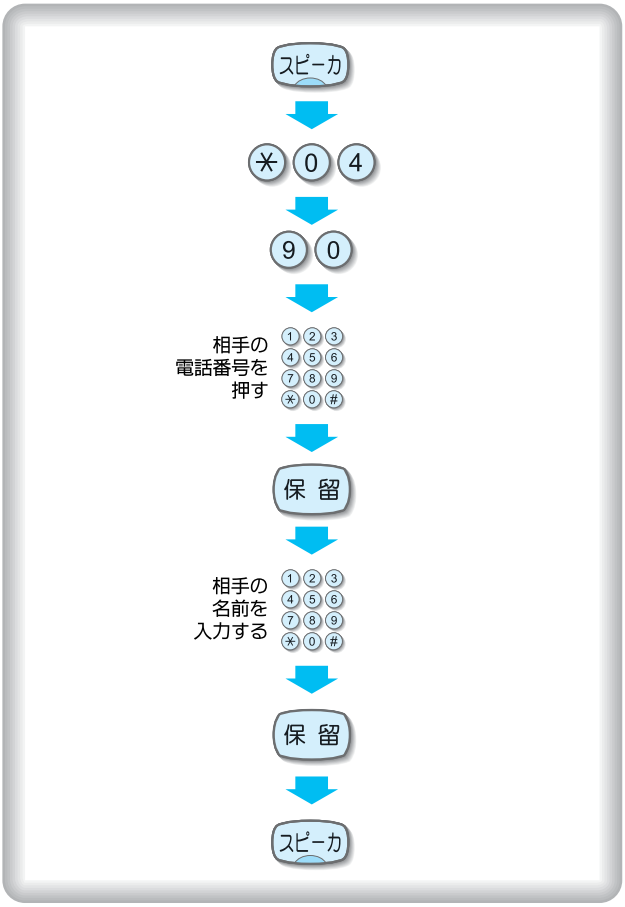
5 保 留 を押す

6 相手の名前を入力する
文字入力のしかた → p39

7 保 留 を押す

8 スピーカ を押す

これで、登録ができました。

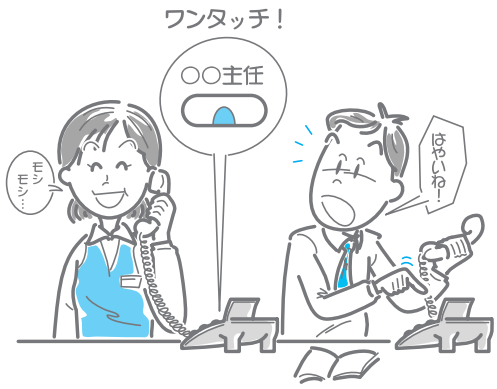


こんなときは

登録内容を確認したい
Helpボタン→再／短ボタンの順に押したあと、確認したい短縮番号を押してください。確認が終わったら、Exitボタンを押します。

登録内容を消去したい
スピーカボタン→＊04の順に押したあと、消去したい短縮番号を押してください。表示されている内容を確認してから、Exitボタン→スピーカボタンの順に押します。

ワンタッチでかける



こんな機能です

ファンクションボタンに、電話番号や内線番号、または、いろいろな機能を登録しておくと、ワンタッチで操作することができます。

こんな使いかたができます

ファンクションボタンに登録できるのは、次の番号です。

- 外線番号（24桁まで）
- 内線番号

また、次のような番号を登録するときは、『取扱説明書』を参照してください。

- ボイスメールのメールボックス番号
- 短縮番号
- 特殊番号

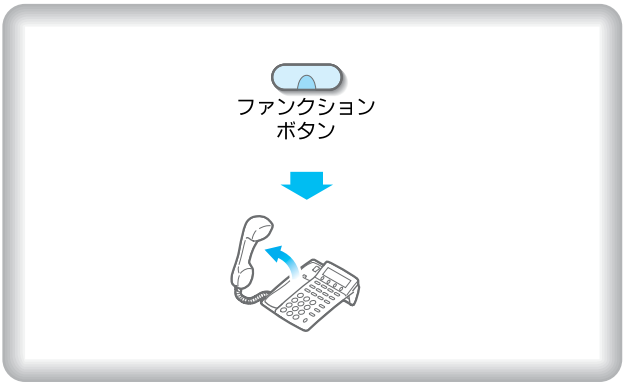
かけかた

1 ファンクションボタン を押す

登録済みのファンクションボタンを押してください。

2 受話器を上げる

相手が出たら通話します。



登録のしかた<外線番号>

1 スピーカ を押す

2 ⑨ ① ⑦ を押す

917は、ワンタッチに登録するための番号です。

3 ファンクションボタン を押す

登録したいファンクションボタンを押してください。

4 ⓪ ① を押す

この01は、ワンタッチの機能番号です。

5 ⓪ を押す

この0は、外線にかけるための番号です。

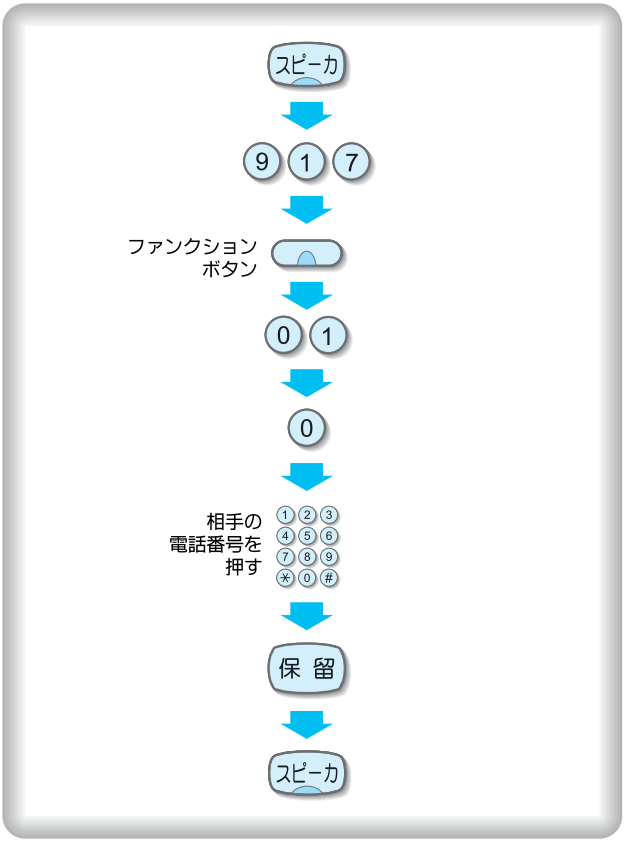
6 相手の電話番号を入力する

続けて内線番号も登録したいときは、電話番号のあとに転送ボタン（ポーズ）を押し、次に内線番号を押します。

7 保 留 を押す

8 スピーカ を押す

これで、登録ができました。



登録のしかた<内線番号>

1 スピーカ を押す

2 ⑨ ① ⑦ を押す

917は、ワンタッチに登録するための番号です。

3 ファンクションボタン を押す

登録したいファンクションボタンを押してください。

4 ⓪ ① を押す

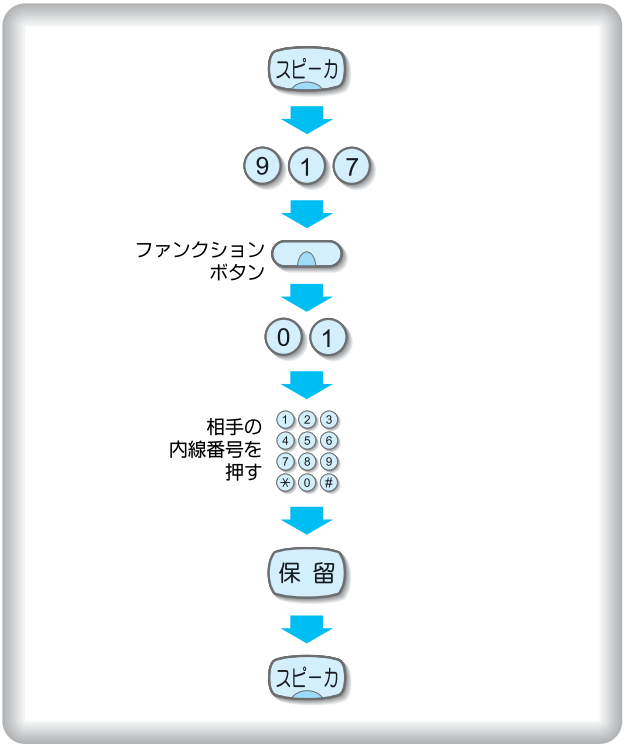
この01は、ワンタッチの機能番号です。

5 登録したい内線番号を入力する

6 保 留 を押す

7 スピーカ を押す

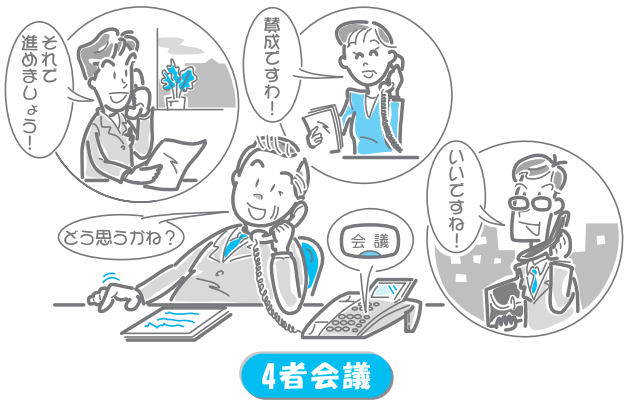
これで、登録ができました。



登録内容を確認したい

Helpボタンを押したあと、確認したいファンクションボタンを押してください。確認が終わったら、Exitボタンを押します。

電話で会議する



4者会議

こんな機能です

最大32人までの人と同時に通話することができます。

こんな使いかたができます

会議通話は、離れた所にいる人や外出中の人と、電話で打ち合わせができ、移動時間を節約できます。

操作のしかた

● 内線の人に参加してもらうとき

A さんと B さんの通話に、内線の C さんも参加してもらいたい

1 A さんが 会議 を押す
Bさんに保留音が流れます。

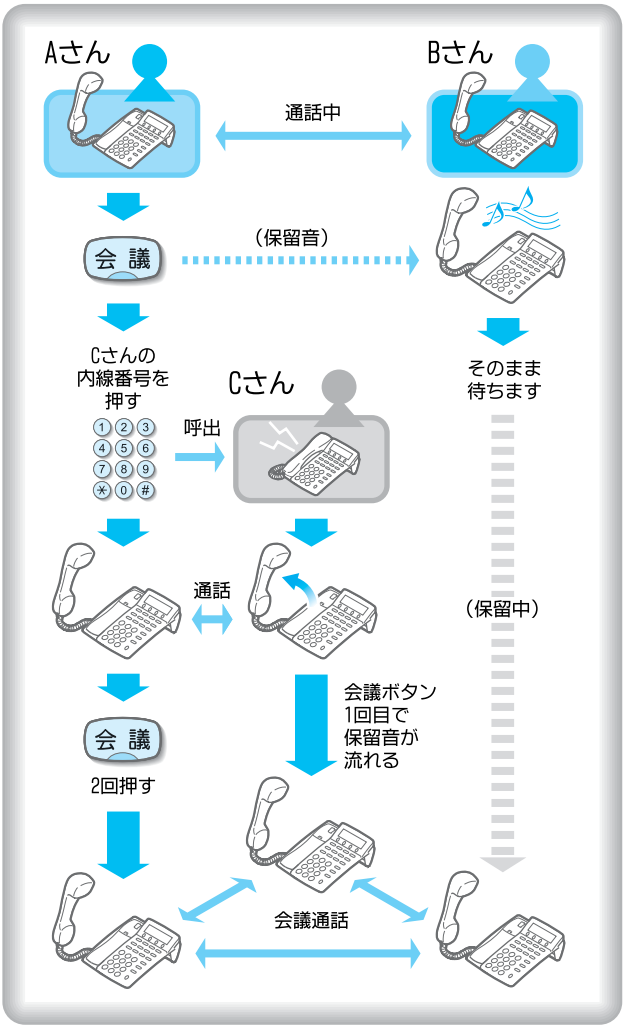
2 C さんの内線番号を押す

3 C さんが電話に出る
Cさんに、通話に参加してもらいたいことを伝えます。

4 A さんが 会議 を押す

5 A さんが続けて 会議 を押す

C さんも参加して、3人で通話ができるようになりました。



こんなときは

さらにもう1人、内線の人に参加してもらいたい

上記手順4のあと、手順2に戻って操作してください。

● 外線の人に参加してもらうとき

Aさんと Bさんの通話に、外線の Dさんも参加してもらいたい

1 Aさんが 会議 を押す
Bさんに保留音が流れます。

2 Aさんが 発信 を押す

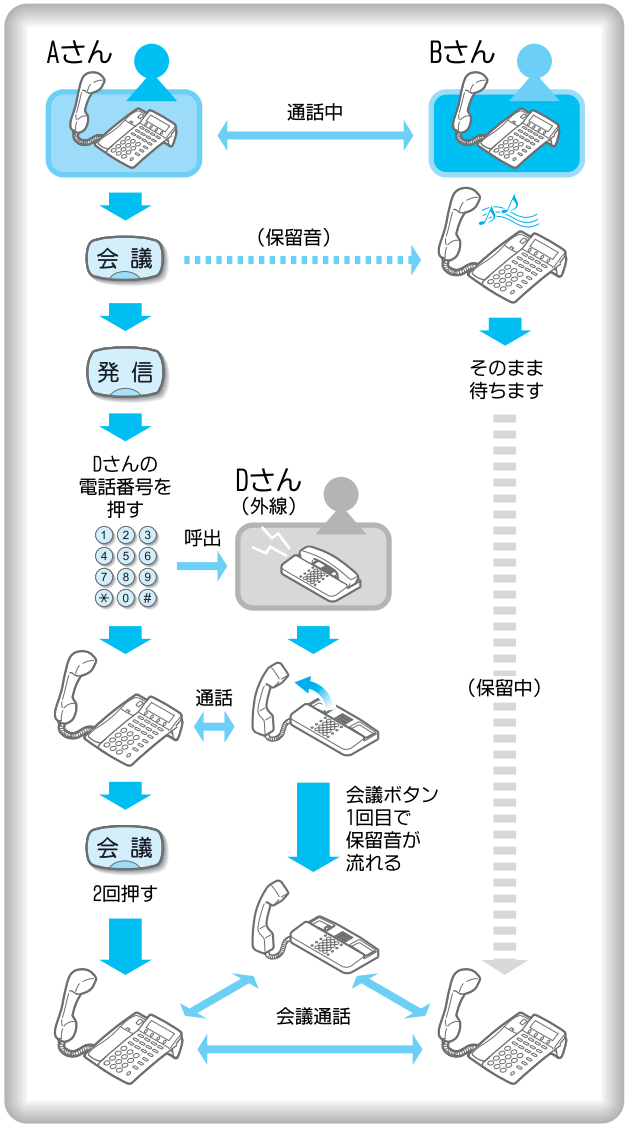
3 Dさんの電話番号を押す

4 Dさんが電話に出る
Dさんに、通話に参加してもらいたいことを伝えます。

5 Aさんが 会議 を押す

6 Aさんが続けて 会議 を押す

Dさんも参加して、3人で通話ができるようになりました。



こんなときは

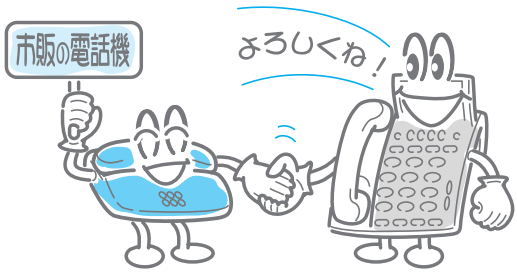
さらにもう1人、外線の人に参加してもらいたい
上記手順5のあと、手順2に戻って操作してください。

注意

外線どうしで聞こえる音が小さくなります
上記の例でBさんとDさんが外線の場合、Bさんと Dさんとの間で聞こえる声は、Aさんの声より小さくなりますが、故障ではありません。

市販の電話機を使う

一般電話機



こんな機能です

本システムに市販の一般電話機を接続することができます（オプションのユニット等が必要になります）。一般電話機には機能ボタンがないので、操作のしかたが少し異なります。
さらに詳しい操作について知りたいときは、『取扱説明書』を参照してください。

使いかた

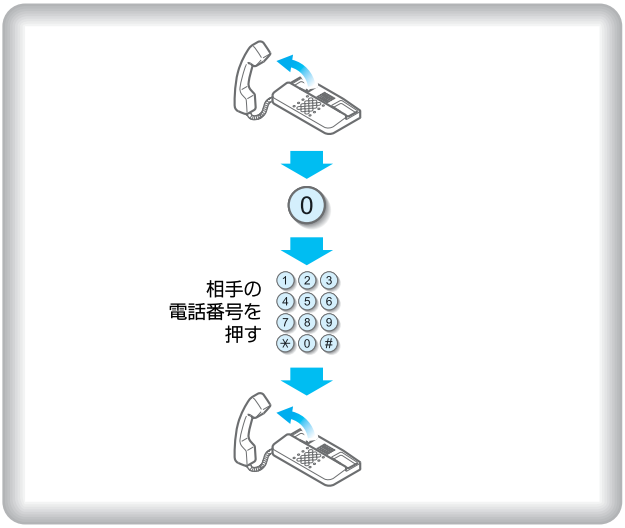
● 外線に電話をかける

1 受話器を上げる

2 ⓪ を押す
外線発信音が聞こえます。
この0は、外線にかけるための番号です。

3 相手の電話番号を押す

相手が出たら通話します。

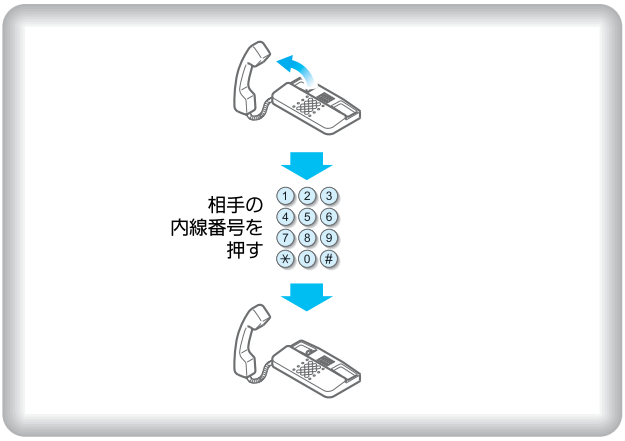


● 内線に電話をかける

1 受話器を上げる

2 相手の内線番号を押す

相手が出たら通話します。



● 外線からの電話を受ける

1 外線が着信中

2 受話器を上げる

相手と通話します。

> 注意
> **着信音が鳴らない電話機では**
> 受話器を上げるだけで、電話を受けることはできません。詳しくは、販売店にご相談ください。

● 内線からの電話を受ける

1 内線が着信中

2 受話器を上げる

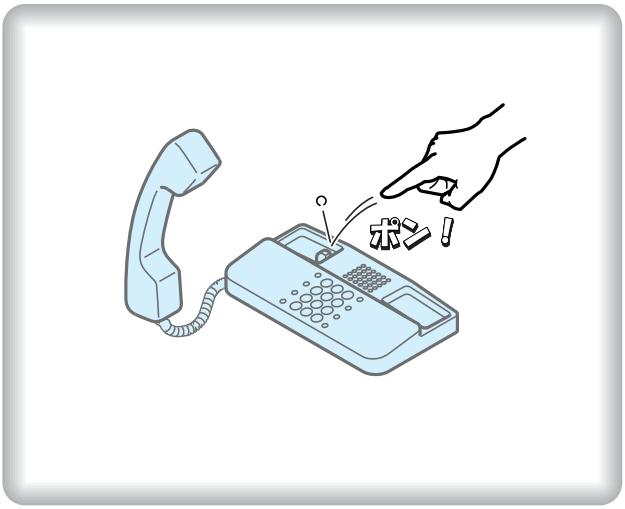
相手と通話します。

● 通話を保留する

1 通話中

2 フックボタンを押して、すぐ放す
フック用のボタンが別についている電話機では、そのボタンを押してください。

これで、通話が保留できました。



> 注意
> **フックボタンは、押したらすぐに放してください**
> フックボタンを長く押していると、通話が切れてしまいます。
>
> **保留中は**
> 通話を保留したまま放置してしまうのを防ぐため、次のような動作になります。
> ・受話器を置くと、保留が解除されるまで呼出音が鳴ります。

● 保留した通話を再開する

1 保留中

2 フックボタンを押して、すぐ放す
フック用のボタンが別についている電話機では、そのボタンを押してください。

相手と通話します。

● 電話を取り次ぎたい

例：A さんが B さんに内線で通話して外線通話を取り次ぐ場合

1 A さんが通話中

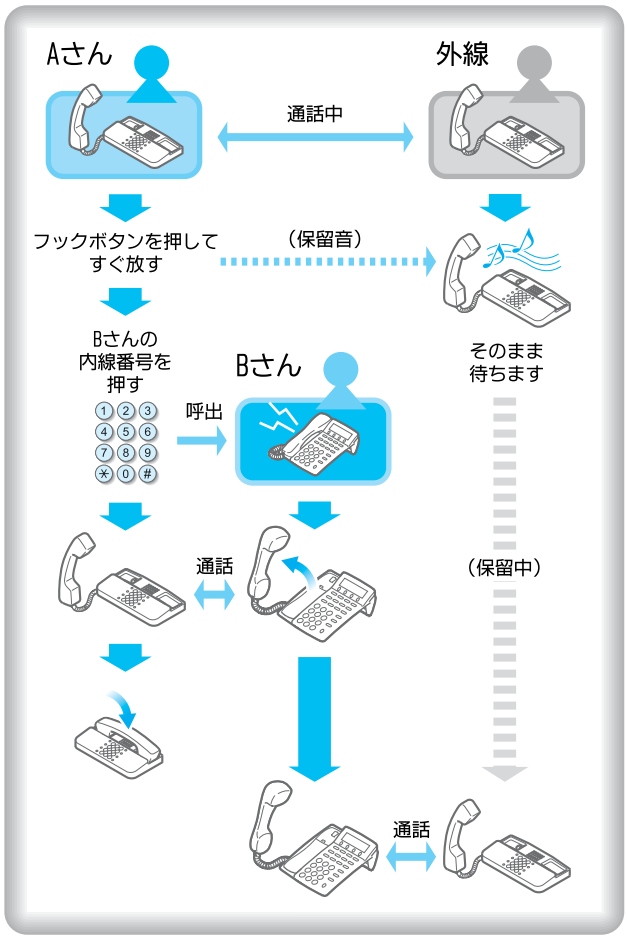
2 フックボタンを押して、すぐ放す
フック用のボタンが別についている電話機では、そのボタンを押してください。

3 B さんの内線番号を押す

4 内線通話で用件を伝える
Aさんは用件を伝えます。
Bさんは受話器を上げたまま待ちます。

5 A さんが受話器を戻す
保留されていた通話が自動的にBさんにつながります。

B さんは、外線の相手と通話します。



注意 **フックボタンは、押したらすぐに放してください**
フックボタンを長く押していると、通話が切れてしまいます。

こんな使いかたもできます

本書では、基本的な操作を主に説明をしていますが、さらに便利な機能がたくさんあります。
別冊の『取扱説明書』では、それらの機能について説明しています。

自分あての電話を移動先に自動転送

着信転送

ほかの部署あての電話に代わりに出る

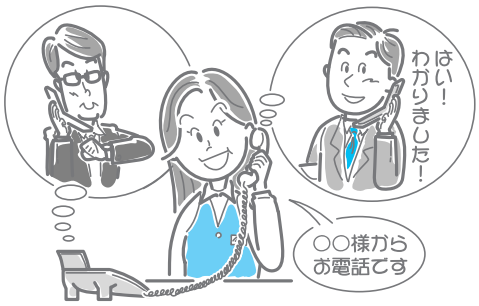
代理応答

指定した時刻にアラームでお知らせ

アラーム

外からの電話を外出中の相手に取り次ぐ

外線手動転送

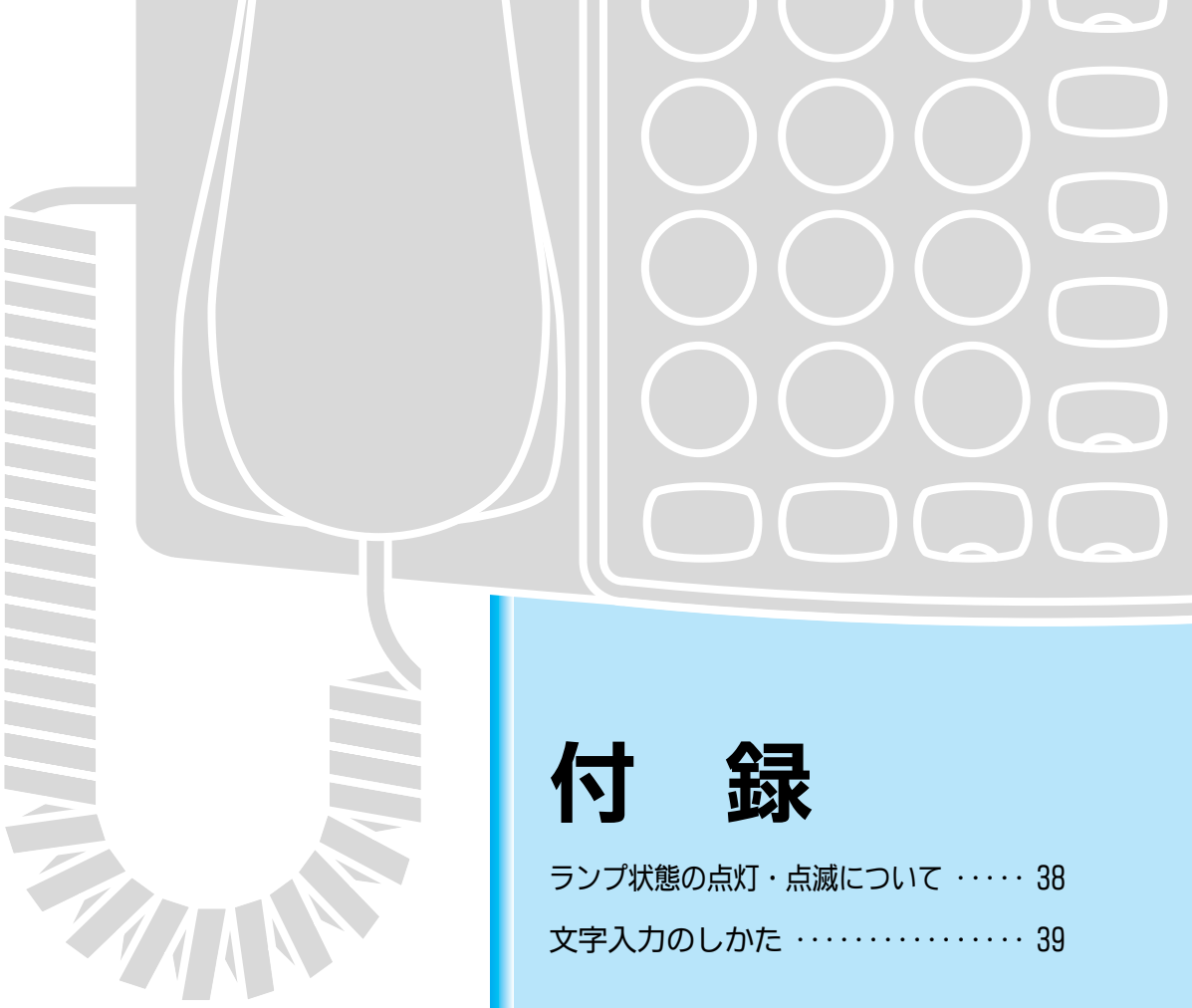


電話機のスピーカを使って一斉呼出

内線グループ呼出

電話に出られない理由を相手に表示

テキストメッセージ



付　録

ランプ状態の点灯・点滅について ····· 38
文字入力のしかた ····· 39

ランプ状態の点灯・点滅について

特殊ボタンや会議ボタンのランプが点灯・点滅している場合、下表の該当する操作で解除できます。

特殊ランプ

■ 点灯している場合

設定されている機能や状態	解　除　方　法
直前に特殊ボタンが押されている	特 殊 を押してください。

大型ランプ

■ 大型ランプが点滅している場合

設定されている機能や状態	解　除　方　法
緑色で点滅しているとき 伝言設定（メッセージウェイティング）されている	次のいずれかの方法を行ってください。 • 伝言に応答する ➡ ⑨⓪⑨ • 伝言元の相手に、伝言設定を解除してもらう スピーカ ➡ ⑨①① ➡ 内線番号 ➡ スピーカ
緑色でゆっくり点滅しているとき ボイスメールのメールボックスに、新しいメッセージが録音されている ※ ボイスメールを使用している場合	メッセージを聞き取ってください。

会議ランプ

■ 点滅している場合

設定されている機能や状態	解　除　方　法
内線通話を保留中	内線通話を再開してください。 ➡ 会 議

注意 **原因がわからない場合**

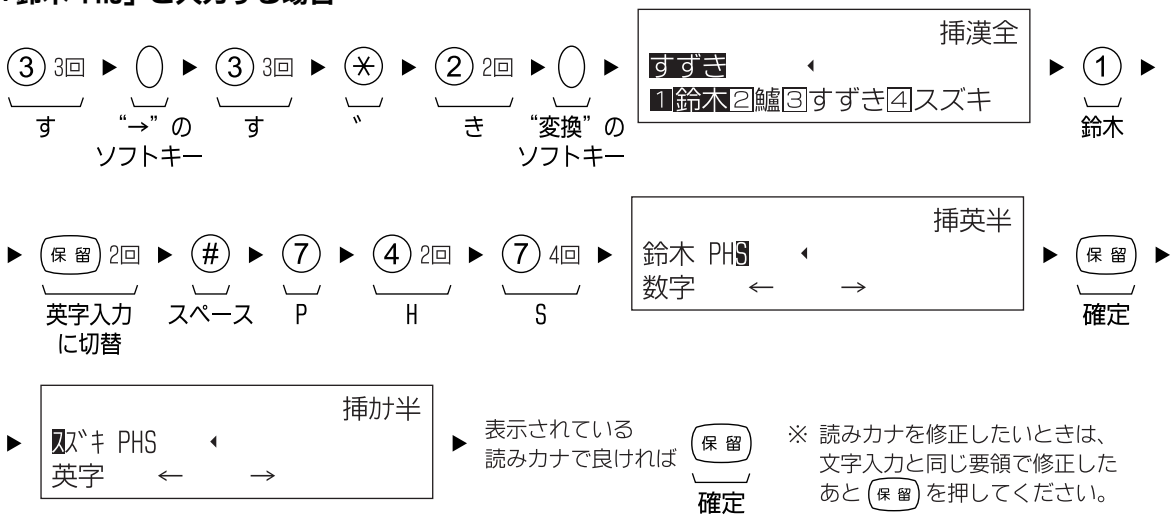
ここに記載されている方法を試してもランプが消えなかったり、故障などお気づきの点がありましたら、販売店にご相談ください。

文字入力のしかた

短縮番号を登録する際、デジタル多機能電話機のボタン操作で、相手の名前を入力することができます。

- 入力したい文字に該当するダイヤルボタンを必要回数分だけ押してください。
- 入力したい文字を通り過ぎてしまった場合は、そのまま数回押し続けると、一巡して再度表示されます。
- 入力例にある「鈴木 PHS」の「すずき」のように、同じ並びの文字を続けて入力したいときは、1文字目を入力したあと“→”のソフトキーを押してください。
- 相手の名前は、半角で12文字まで、全角で6文字まで入力できます。また、全角と半角を混ぜて使用できます。
- 入力した文字を削除したいときは、会議 を押してください。カーソル上の文字またはカーソルの1つ前の文字が削除されます。
- ダイヤルボタンを押したときに表示される文字は、次ページの「文字入力一覧表」を参照してください。

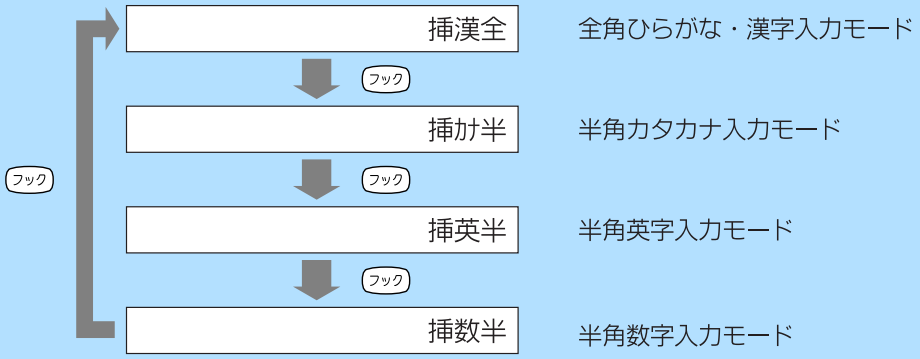
入力例：「鈴木 PHS」と入力する場合



こんなときは

文字入力モードと表示について

フックボタンを押すごとに、文字入力モードが次のように切り替わります。



文字入力一覧表

■ 全角ひらがな・漢字入力モード時

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数と入力文字											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
①ア	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	「あ」に戻る	
②カ	か	き	く	け	こ	「か」に戻る						
③サ	さ	し	す	せ	そ	「さ」に戻る						
④タ	た	ち	つ	て	と	っ	「た」に戻る					
⑤ナ	な	に	ぬ	ね	の	「な」に戻る						
⑥ハ	は	ひ	ふ	へ	ほ	「は」に戻る						
⑦マ	ま	み	む	め	も	「ま」に戻る						
⑧ヤ	や	ゆ	よ	ゃ	ゆ	ょ	「や」に戻る					
⑨ラ	ら	り	る	れ	ろ	「ら」に戻る						
⓪ワ	わ	を	ん	「わ」に戻る								
⊛	〝	゜	ー	。	「	」	、	・	「〝」に戻る			
#	空白（スペース）											

■ 半角カタカナ入力モード時

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数と入力文字											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
①ア	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	「ｱ」に戻る	
②カ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	「ｶ」に戻る						
③サ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	「ｻ」に戻る						
④タ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ	「ﾀ」に戻る					
⑤ナ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	「ﾅ」に戻る						
⑥ハ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	「ﾊ」に戻る						
⑦マ	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	「ﾏ」に戻る						
⑧ヤ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ	「ﾔ」に戻る					
⑨ラ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	「ﾗ」に戻る						
⓪ワ	ﾜ	ﾇ	ｿ	「ﾜ」に戻る								
⊛	〝	゜	ー	。	「	」	、	・	「〝」に戻る			
#	空白（スペース）											

■ 半角英字入力モード時

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数と入力文字													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①ア	1	@	[	¥	]	^	_	`	{	|	}	→	←	「1」に戻る
②カ	A	B	C	a	b	c	「A」に戻る							
③サ	D	E	F	d	e	f	「D」に戻る							
④タ	G	H	I	g	h	i	「G」に戻る							
⑤ナ	J	K	L	j	k	l	「J」に戻る							
⑥ハ	M	N	O	m	n	o	「M」に戻る							
⑦マ	P	Q	R	S	p	q	r	s	「P」に戻る					
⑧ヤ	T	U	V	t	u	v	「T」に戻る							
⑨ラ	W	X	Y	Z	w	x	y	z	「W」に戻る					
⓪ワ	0	!	"	#	$	%	&	'	(	)	「0」に戻る			
⊛	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	「*」に戻る	
#	空白(スペース)													

（注）“→”、“←”は、漢字表示電話機では、正しく表示されません。

■ 半角数字入力モード時

ダイヤルボタンと入力文字							
①ア	1	④タ	4	⑦マ	7	⓪ワ	0
②カ	2	⑤ナ	5	⑧ヤ	8	⊛	*
③サ	3	⑥ハ	6	⑨ラ	9	#	#

こんなときは

カナ表示電話機をご利用の場合は

カナ表示電話機の文字入力モードは、「カナ入力モード」と「英数字入力モード」の2種類です。詳しくは、別冊の『取扱説明書』を参照してください。

- カナ入力モード
  前ページ「半角カタカナ入力モード」と同じです。
- 英数字入力モード
  - 英字の場合：上記「半角英字入力モード時」と同じです。
  - 数字の場合：英数字入力モードで次の操作を行ってください。
    0, 1, * … 入力したい数字のダイヤルボタンを1回押す
    2～6, 8 … 入力したい数字のダイヤルボタンを7回押す
    7, 9 … 入力したい数字のダイヤルボタンを9回押す
    # …「0」を4回押す

なお、「スズキ」の「ススス」ように、同じ並びの文字を続けて入力したいときは、1文字目の「ス」を入力したあと「#」を押してください。また、スペースを入力したいときは、「#」を2回押してください。

Aspire シリーズ

かんたん操作ガイド

本書は再生紙を使用しています。

NECインフロンティア株式会社

ND-105057-003　第3版
2005.12